

# 入賞発表

## 第40回 海とさかな

自由研究・作品コンクール

協賛 O-ニッスイ

「海とさかな」自由研究・作品コンクールホームページ  
<https://www.umitosakana.com/>

■主催／朝日新聞社、朝日学生新聞社 ■後援／農林水産省、文部科学省、国立研究開発法人海洋研究開発機構、国際研究開発法人水産研究・教育機構、公益財団法人海外子女教育振興財団、公益社団法人日本水産学会 ■協力／公益社団法人日本動物園水族館協会 ■協賛／日本水産株式会社

研究部門  
農林水産大臣賞  
観察図  
秋田県 大仙市立東大曲小学校 3年  
中川陽

もつと知りたい！ クロソイ



研究部門

農林水産大臣賞

観察図

秋田県 大仙市立東大曲小学校 3年  
中川陽

もつと知りたい！ クロソイ

事務局から  
情報量が多いだけではなく、耳石の取り出しや水族館での観察などひとつひとつが実体験に基づいてしっかりとまとめられています。魚の絵も細かく描きこまれ、3年生とは思えない力強い観察図となっています。



## 「海とさかな」 (底引網について)

福岡県 北九州市立小石小学校 3年  
尾崎 健大

研究部門  
農林水産大臣賞

工作

農林水産大臣賞

創作物

農林水産大臣賞

事務局から

船の装備や配色が実物通りに精巧に表現されています。水中、水面の違いを段差や色でわかりやすく表現したり、網の引き方に工夫がされたりと、しっかりととした観察とアイデアが生きています。



## 「海とさかな」 自由研究・作品コンクール

性あふれる応募作品から、入賞作品75点が決まりました。

その中から、最優秀賞16作品と海外作品特別賞、学校・団体協力賞を紹介します。

「海とさかな」自由研究・作品コンクールホームページ  
<https://www.umitosakana.com/>



創作物

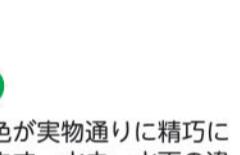
農林水産大臣賞

## 「海とさかな」 —地島の海—

福岡県 北九州市立小石小学校 3年  
尾崎 健大

事務局から  
底引網について

船の装備や配色が実物通りに精巧に表現されています。水中、水面の違いを段差や色でわかりやすく表現したり、網の引き方に工夫がされたりと、しっかりととした観察とアイデアが生きています。



## 「海とさかな」 —地島の海—

福岡県 北九州市立小石小学校 3年  
尾崎 健大

研究部門  
農林水産大臣賞

作文

農林水産大臣賞

## 「祖父の宝もの」 —地島の海—

福岡県 北九州市立小石小学校 6年  
小田 孝太朗

研究部門  
農林水産大臣賞

事務局から  
祖父への敬意、祖父から伝わったものを守っていきたいという強い思いが伝わってくる作品です。

仲間の大切さ、将来のために魚をとりすぎてはいけないなどの祖父の言葉が読み手の胸に響いてきます。

事務局から

祖父への敬意、祖父から伝わったものを守っていきたいという強い

思いが伝わってくる作品です。

仲間の大切さ、将来のために魚を

とりすぎてはいけないなどの祖父

の言葉が読み手の胸に響いてきます。

事務局から

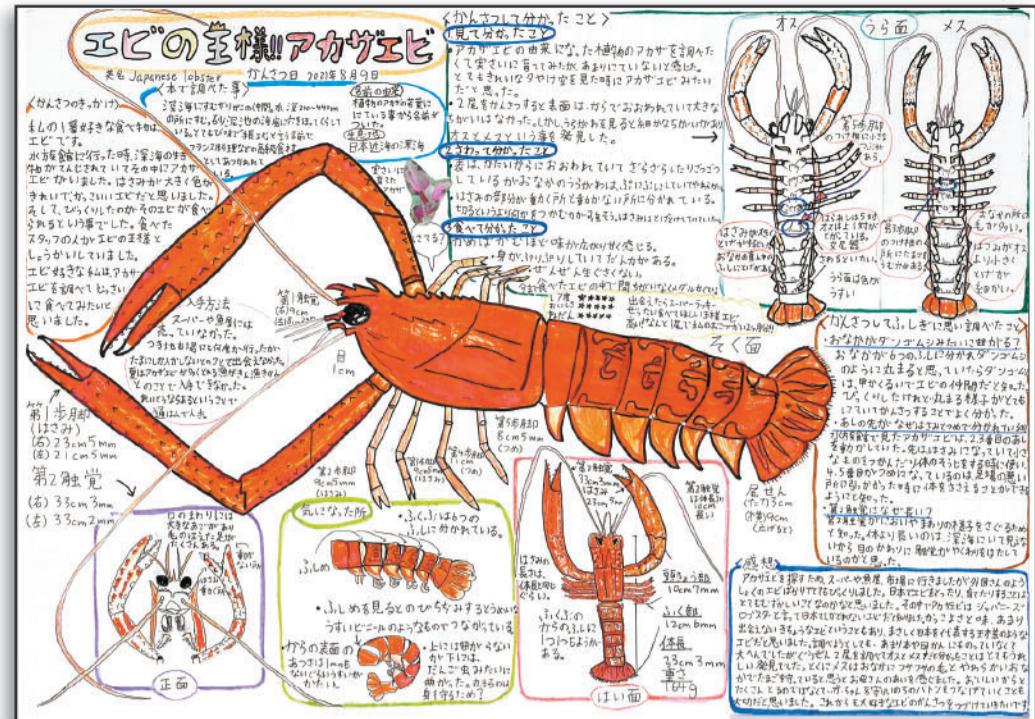
祖父への敬意、祖父から伝わった

ものを守っていきたいという強い



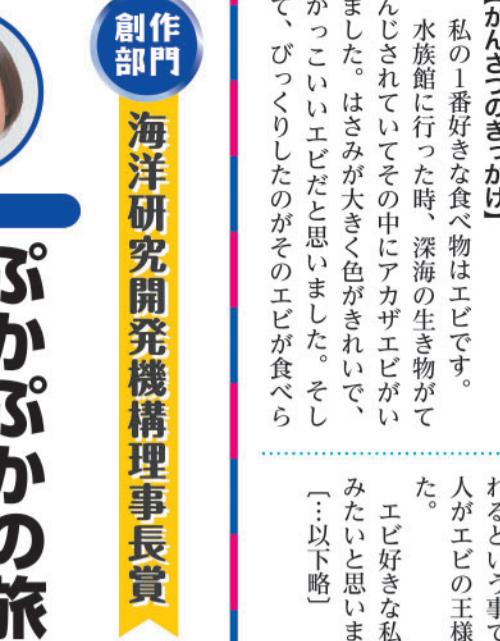
**エビの王様!!  
アカエビ**

東京都 東京学芸大学附属小金井小学校 3年



「かぶかのき」  
私の一番好きな食べ物はエビです。  
水族館に行つた時に、深海の生き物がて  
んじました。はさみが大きくて色がきれいで、  
かっこいいエビだと思いました。そし  
て、びっくりしたのがそのエビが食べら  
れたという事でした。人がエビの王様とし  
ようじいました。エビ好きな私は、アカエビを調べて  
みたいと思いました。

〔以下略〕



「ぶかぶかの旅」を連想させる素材選  
びや表現方法で優れた作品です。  
グラフの目線での環境問題やされい  
な海の描写を、心地よいリズムで読み進めていくことができます。

〔以下略〕

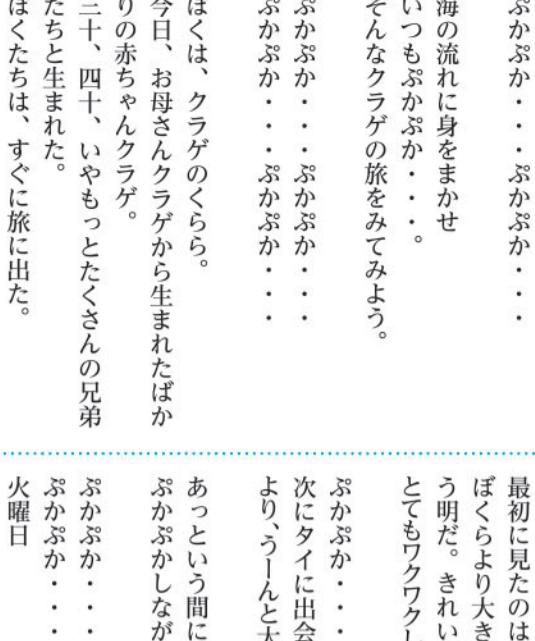


自分で出来ることを試したり、触ってわかったことを上手に整理したりと、  
調べ学習にとどまらない行動力が、観察図を説得力のあるものにしています。  
子どもらしい表現からも楽しんで取り組む様子がうかがえました。

〔以下略〕



〔以下略〕



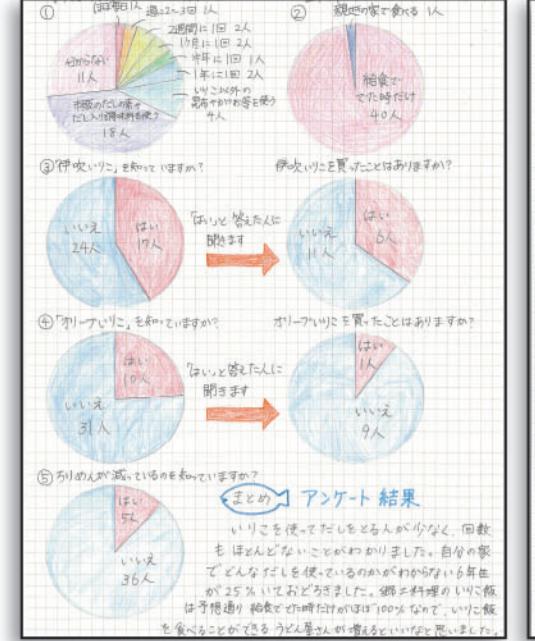
〔以下略〕



〔以下略〕



〔以下略〕



〔以下略〕

</div



**「いかを見つけたよ」**  
絵画  
中華人民共和国 青島日本人学校 2年  
徳永 結咲



## 事務局から

まるでイカとお話をしているかのような楽しげな作品です。全体的な色合いや小さな魚やカニの絵もかわいく、本人が想像した世界が上手に表現されています。

## 最終審査会の先生方より



## 坂本 和弘 [葛西臨海水族園 副園長]

身近なものに疑問を持ち、調査や実験を重ねた研究や、見た人が思わず笑顔になる楽しい作品もたくさんありました。ていねいに生き物を飼育して観察、優しく実験を進めた研究もあり、水族館職員としてうれしく思いました。



## 廣野 淳 [農林水産省 水産庁 増殖推進部 研究指導課長]

海関連の仕事を30年以上つとめていますが、みなさんの海への愛を感じることができて、うれしかったです。作品に込めた熱意や魚が好きだという気持ちが伝わってきて、審査は楽しい時間でした。



## 有本 淳 [文部科学省 国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官]

毎回、よくこれだけ多彩なテーマを見つけると感心しています。他にも選ぶたい作品はたくさんあります。毎年毎年、思いのこもった作品を寄せています。これからも心をこめて審査していきます。



## 佐藤 孝子 [国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球情報基盤センター技術副主幹]

素晴らしい作品を見せていただきました。コロナ禍で制約があるなか、みなさんの工夫を感じました。どの作品も心に残るものばかりです。いかにたくさんの時間をかけて取り組んでくれたかが、作品に表れていました。



## 桑原 隆治 [国立研究開発法人水産研究・教育機構 経営企画部 次長]

新型コロナで出かけられない中でも、しっかりと取り組めていると感じました。自分で見て、考え、行動したことが伝わってきました。このコンクールが続くことで、これからも小学生の力が育っていくと思います。



## 神保 充 [日本水産学会・北里大学 海洋生命科学部 教授]

研究部門は継続性のある作品が見られました。創作部門は様々な表現の作品があり、嬉しかったです。コロナ禍で在宅が多いせいかもしれないですね。来年は、自由研究を制限なく進められる日が戻ることを願っています。



## 飛田 浩昭 [西武学園文理小学校 校長]

子ども達の着眼点って、すごいですね。40回経ても、題材が尽きないんです。大都市ばかりではなく、地方や離島からも素朴な作品が寄せされました。よい作品を子どもたちにもっと見てもらい、応募の輪が広がるといいですね。



## 森田 和良 [文京学院大学 人間学部 児童発達学科 特任教授]

ICTが発達して、「ネットで調べればわかる」と書いている作品が増えたように思います。そんな中でも、疑問を大切して、実際に調べて→分かって→また分からないことを調べる…を実践した作品が選ばれたのだと思います。



## 西 昭彦 [日本水産株式会社 CSR部長]

「海をきれいに」「ゴミについて自分が出来ること」など、自分で出来ることを考える作品も見受けられました。子ども達の熱意・思いを大人の私たちが受け止めて、社会を変えていかなければならないと感じました。



## 西山 公隆 [朝日新聞社 科学医療部長]

子ども達の素朴な研究心・探求心が結実すると、大きなニュースや関心を呼ぶ話題になります。作品はどれもていねいに作られていました。子どもらしい「好きだ」「興味がある」という気持ちが、作品にも表れていたと思います。



## 清田 哲 [朝日学生新聞社 編集部長]

自分で調べ、まとめ、発表する本コンクールは、意義深いものです。環境や自然のことを当たり前に考えられる子どもが増えています。40回続いてきたこのコンクールは、そのような子ども達の育成に役立っていると感じています。

- 堺市立東三国丘小学校
- 八尾市立大正小学校
- 八尾市立用和小学校
- 奈良県奈良学園小学校
- 和歌山県御坊市立湯川小学校
- 岡山県岡山市立平島小学校
- 岡山市立福浜小学校
- 総社市立新本小学校
- 広島県竹原市立大乗小学校
- 東広島市立西条小学校
- 広島大学附属東雲小学校
- 福山市立手城小学校
- 福山市立津小学校
- 福山市立御幸小学校
- 愛媛県新居浜市立金子小学校
- 高知県土佐市立宇佐小学校
- 福岡県糸島市立前原小学校
- 小郡市立三国小学校
- 佐賀県玄海みらい学園
- 長崎県雲仙市立千々石第一小学校
- 雲仙市立南串第一小学校
- 熊本県熊本市立託麻原小学校
- 宮崎県延岡市立伊形小学校
- 鹿児島県屋久島町立安房小学校
- 日本国外シンガポール日本人学校小学部クレメンティ校

## 【応募作品の特徴】

昨年に引き続き、コロナ禍であることに配慮しつつも創意工夫をしている様子が多くの作品に見られました。

全部門に共通してSDGsやマイクロプラスチックを取り上げた作品が多かったです。

環境問題も重要な課題である一方、海そのものの不思議や魅力、魚や生き物たちを発見した驚きやその生命力に感動した思いなどを掘り下げたものに、これからの期待を込めたいです。

調べ学習以上に、自分自身で興味を持って楽しく仕上げられた作品に、特に注目が集まりました。

## 【各部門の特徴】

## 研究部門

## 《観察図》

- 甲殻類を中心として、完成度の高い作品が多く見られました。エビとダンゴムシの共通点、ヤドカリとのツメの比較、カニとヤドカリの足のつき方への注目など、身近な生き物を交えつつ疑問点を見つけて意欲的に取り組んでいることがうかがえます。
- 存在感のある目立つ生き物に人気が集まり、レイアウトにも工夫が見られました。
- 普段見ることのなかった内臓や体の仕組みを自分で調べて描く探求心を持ちながら、研究への取り組みにつながることを期待します。

## 創作部門

## 《作文》

- 今年度の大きな特徴として、調べたことや観察した記録、自分なりの考え方などをまとめた自由研究的な要素の強い作品が数多く見られました。
- 特に生き物の生態についてのレポートのような文章が目立ちました。
- マイクロプラスチックや気候変動などの記述が多く、子どもたちの環境問題への関心の高さがうかがえます。
- 昨年度と比較し、作文は家族との心温まるエピソードが減少し、釣りや磯遊びなどの体験に基づく作品が増加しています。コロナ禍の規制の中でも、自然に触れることが出来た喜びや楽しさが伝わってきました。
- 創作文は例年より少なかった印象ですが、その多くが環境問題を盛り込んだ作品でした。
- 次年度は、多くの人の交流や自然との触れ合いなど様々な体験が積極的に出来るようになり、その体験に基づく生き生きとした作文にたくさん出えることを願います。

## 《工作》

- 例年より既製品の材料に頼らない造りのものが多く見られ、身近にあるものを上手に利用しながらシンプルな仕掛けで動きを出す楽しい作品が目を引きました。
- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。
- ジオラマ型の作品のあつと驚くような精巧さや、生き物の独特な質感の表現までにあともう一步という作品も多く、もう少しの粘り強さが欲しいところです。

## 《自由研究》

- 体験しながら調べたり、漁港や水族館などへ取材に行けないなどの制約がある中で、コツコツと観察結果をまとめた、在宅ならではの強みを生かした作品もありました。
- また、クラスメイトにアンケートを取るなど発想を変える工夫が見られました。
- SDGsをテーマにした作品はていねいによくまとまっている反面、流れている情報の調べ学習になっているものが多いように思われます。

## 《絵画》

- 昨年と同様にのびのびとダイナミックな画風で描かれた作品は少ない印象です。
- 題材としては深海魚やサメ、タコなどが不動の人気を保っています。中でもウミガメが多く見られました。
- 昨年まではウツボ対タコの戦闘シーンを描いた作品が多かったのが、今年はウツボ対ダイオウイカが多数でした。
- インターネットの普及により既存の構図で描かれた作品が増えていますが、独自の視点から仕上げられた作品には、生き生きとした子どもらしい自由な発想を感じました。

## 《絵本》

- 作品としてよく仕上がっており、絵本としての物語性のまとまりがあるものが多く見られました。
- 近年の傾向として、仕掛けがあり、作り込んである技術性の高い作品が目立つようになりましたが、今年は絵を主とした中に「これを伝えたい」という気持ちの伝わる作品が多く、印象に残りました。
- 図鑑のような内容のもの、環境問題と関連するもの、教育的要素の高いもの、自由研究に近いもの、抽象的なもの、それぞれの魅力があり、広がりのあるバラエティー豊かな応募となりました。

## 《繪本》

- 作品としてよく仕上がっており、絵本としての物語性のまとまりがあるものが多く見られました。

## 《工作》

- 例年より既製品の材料に頼らない造りのものが多く見られ、身近にあるものを上手に利用しながらシンプルな仕掛けで動きを出す楽しい作品が目を引きました。

## 《作文》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《研究》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《絵画》

- 昨年と同様にのびのびとダイナミックな画風で描かれた作品は少ない印象です。

## 《工作》

- 例年より既製品の材料に頼らない造りのものが多く見られ、身近にあるものを上手に利用しながらシンプルな仕掛けで動きを出す楽しい作品が目を引きました。

## 《作文》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《研究》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《絵画》

- 昨年と同様にのびのびとダイナミックな画風で描かれた作品は少ない印象です。

## 《工作》

- 例年より既製品の材料に頼らない造りのものが多く見られ、身近にあるものを上手に利用しながらシンプルな仕掛けで動きを出す楽しい作品が目を引きました。

## 《作文》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《研究》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《絵画》

- 昨年と同様にのびのびとダイナミックな画風で描かれた作品は少ない印象です。

## 《工作》

- 例年より既製品の材料に頼らない造りのものが多く見られ、身近にあるものを上手に利用しながらシンプルな仕掛けで動きを出す楽しい作品が目を引きました。

## 《作文》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《研究》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《絵画》

- 昨年と同様にのびのびとダイナミックな画風で描かれた作品は少ない印象です。

## 《工作》

- 例年より既製品の材料に頼らない造りのものが多く見られ、身近にあるものを上手に利用しながらシンプルな仕掛けで動きを出す楽しい作品が目を引きました。

## 《作文》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《研究》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《絵画》

- 昨年と同様にのびのびとダイナミックな画風で描かれた作品は少ない印象です。

## 《工作》

- 例年より既製品の材料に頼らない造りのものが多く見られ、身近にあるものを上手に利用しながらシンプルな仕掛けで動きを出す楽しい作品が目を引きました。

## 《作文》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《研究》

- 全体的に作品のサイズが小さくなりました。

## 《絵画》

- 昨年と同様にのびのびとダイナミックな画風で描かれた作品は少ない印象です。

## 《工作》

- 例年より既製品の材料に頼らない造りのものが多く見られ、身近にあるものを上手に利用しながらシンプルな仕掛けで動きを出す楽しい作品が目を引きました。